

在宅サービスの充実は

在宅医療推進センターと連携

問 高齢者の在宅介護、在宅医療サービスの充実について、地域の医療体制、介護体制の脆弱さがあると思うが、人生の終章である晩年では、在宅介護、在宅医療を望む人が多いのではないかと考えている。町の今後の対応については。

保健福祉課長 住み慣れた地域で最後まで暮らし続けるためには、その病気療養を支える医師、看護師、あるいは日常生活を手助けする介護職等の存在が不可欠であると考えている。

そのような多職種の方が連携を深め、その在宅療養をしている方々のニーズを共有できて適切なケアが提

供できる。町として、県北健康福祉センター内に設置された在宅医療推進センターと連携を図り在宅医療を推進する。

また、在宅医療と介護の連携を図るため意見交換会を昨年実施して介護職、医療職の顔の見えるような関係づくりを支援している。

議会のネット中継、録画配信は

議員提案の上で、結論を

問 町民と町、議会の連携による町づくりということで情報の共有、発信に

ついて議会はチエック機能、政策立案、議員間討議、情報公開が重要である。その手法として議会のネット中継、記録配信も重要と考え、其の取り組みを進めている。自主財源が減少する厳しい状況ではありますが、このようなことに対するの町長の考えは。

町長 私も議員時代に、議会の公開性を提唱してきた立場としてある程度理解している。

議会のそのような情報改革については、議員の皆様方のご提案、議論をいただいたうえでの結論を待ちたい。

議会のネット中継取り組み

